

(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

①CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査

②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装

- 1.内閣府と CJPF にて実施される各プロジェクトにおける事務局
- 2.各プロジェクトの実施主体となるアクティブな人材、企業、教育・研究機関等の提案と名簿作成
- 3.各プロジェクトの管理運営の伴走、報告書の取り纏め
- 4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開
 - 1) 2)成功モデルケースの抽出・調査
 - 3)フレーム化による成功パターンの展
- 5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援

③打合せ及び会議の運営並びに各種報告書の作成



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

I. 成功モデル事例のフレーム化

- ・ フレーム化にあたっては、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科共創を行った。参画メンバーは以下の通り。

CJPF 総研

□「システム×デザイン思考」のフレームを活用しながら、CJPFの事業成功モデル要因を分析し特定。
□慶應義塾大学大学院教授の白坂氏と共創し、共同研究。地域や事業者様に役立てて頂けるフレームとして横展開を行う。

監修



白坂成功教授
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 教授



東京大学大学院修士課程修了、慶應義塾大学後期博士課程修了(システムエンジニアリング学)。大学院修了後、三菱電機にて15年間、宇宙開発に従事。HTV、準天頂衛星などの開発に参画。途中、エアバスの衛星開発部門に駐在し、欧州宇宙機関向けの開発を実施。大学では大規模複雑・高信頼性システム構築から人間中心のイノベーション創出方法論にいたるまで、幅広い方法論の構築の研究に取組む。2010年より慶應SDM准教授。2017年より同教授。2020年よりIPAデジタルアーキテクチャデザインセンターアドバイザリーボード座長、様々な政府委員会委員や社外取締役等を併任。

共同研究者



広瀬毅氏
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 特任助教

1997年慶應義塾大学 環境情報学部卒。富士通の関連会社にてプログラマーとして従事。開発言語やWindowsアプリケーションの開発に携わる。2002年から富士通製パソコン「FMV」ユーザー向けサイトの企画・運営を担当。Webサイトの企画・開発・分析業務などに携わる。2006年株式会社電通ワンダーマンに入社。アナリシス&システムディレクターなどを経てストラテジックプランナーとして、Webサイト開発、ログ解析レポートから戦略プランニングまで幅広い業務に従事。2016年3月に慶應義塾大学大学院SDM研究科にてシステムズエンジニアリング学位を修了。2017年3月に合同会社JudgePlusを設立。代表社員として現在も事業を継続。2017年4月より慶應義塾大学大学院SDM研究科の特任助教として就任。現在に至る。



山崎真湖人氏
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 特任助教

研究テーマは、新規事業コンセプトを多視点で確認し改善させる手法の開発。企業内の様々な人が新規事業のアイデアを生み、実現に向けて着実に前進するための手法を開発している。このほか、企業・組織との共同研究(思考方法の開発、事業コンセプトの検討など)を担当。教育ではシステム×デザイン思考に関する授業に教員として参加している。



中田実紀子氏
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 特任助教

Office DeMI代表社員。Western Michigan Universityにおいて女性学及び社会心理学を専攻。その後George Washington UniversityでProfessional StudiesのParalegalとして修士を取得。本田技研工業株式会社知的財産部で基礎研究における契約交渉のキャリアを経て、三越伊勢丹ホールディングスにて、社長直下の特命担当として様々なプロジェクトマネジメントに従事。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科前期博士課程修了を経て現職。システムデザイン・マネジメント序論(日英)やデザインプロジェクトの授業等を担当。ジェンダー平等やナイトタイムエコノミーについての研究を行なっている。



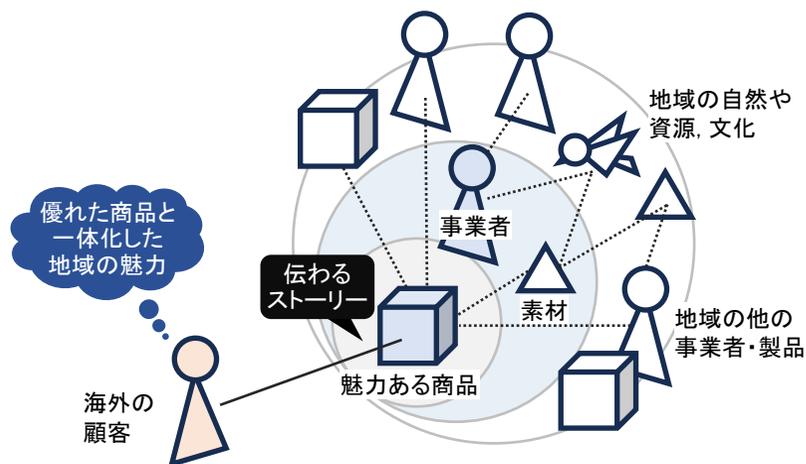
②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

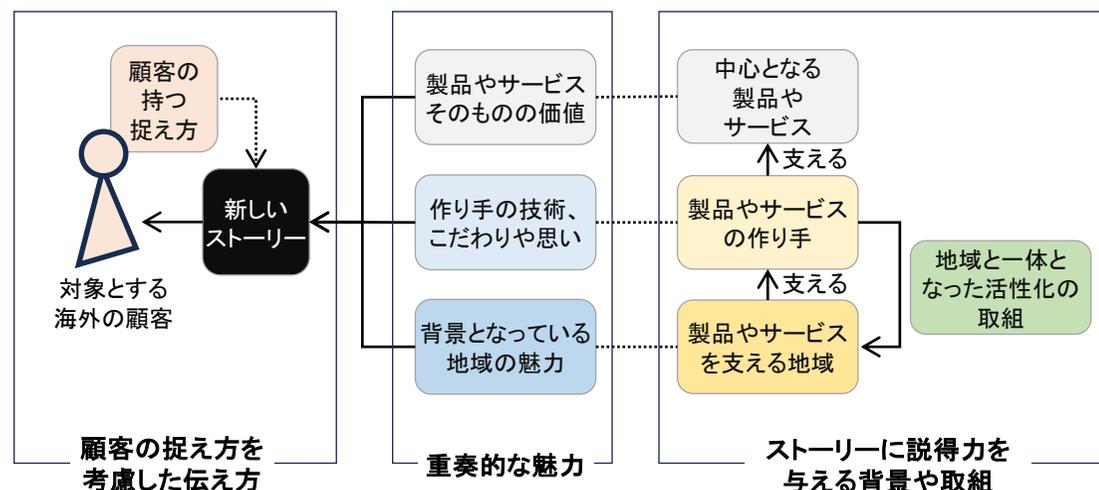
I.成功モデル事例のフレーム化

- 海外顧客に伝わるストーリー構成のポイントをフレームとして形式知化。各事業者が事業の海外展開を考えるためのガイダンスとして活用可能なものを目指した。

成功モデル事例分析からの発見



ストーリーを構成するためのフレーム



CJPF成功事例では、商品そのものの魅力だけでなく、それを生み出す作り手の技術や思い、特別な素材、さらにそれらを支える地域の特色が整合性を持ったストーリーとして語られ、重奏的な魅力が伝わってくる。

日本の事業者の中には、魅力的な製品やサービスを提供しているが、その価値を海外の顧客に伝える方法がわからずにいる方もいるだろう。

こうした魅力のストーリー化(伝えるストーリーの構成)を支援することが、事業者の方々に対するCJPFによる貢献の一つとなるのではないかと。

複数の事例から抽象化を行い、図のようなフレームを導いた。

- 顧客の捉え方を考慮した伝え方: 対象とする海外顧客を理解し、その人々が馴染みやすい魅力の伝え方を工夫する
- 重奏的な魅力: 製品そのものの価値を伝えるだけでなく、作り手の技術や思い/背景となっている地域の魅力(自然や歴史・文化等)が重なることで、深みを持ったストーリーが構成される
- ストーリーに説得力を与える価値ある事業とその背景や取組: 真に魅力的な製品やサービス、確かなモノ・コトづくり、製品やサービスを生み出す背景となる地域、さらにその地域と一体となった事業者の取組が、ストーリーを下支えし日本的な価値観を演出する

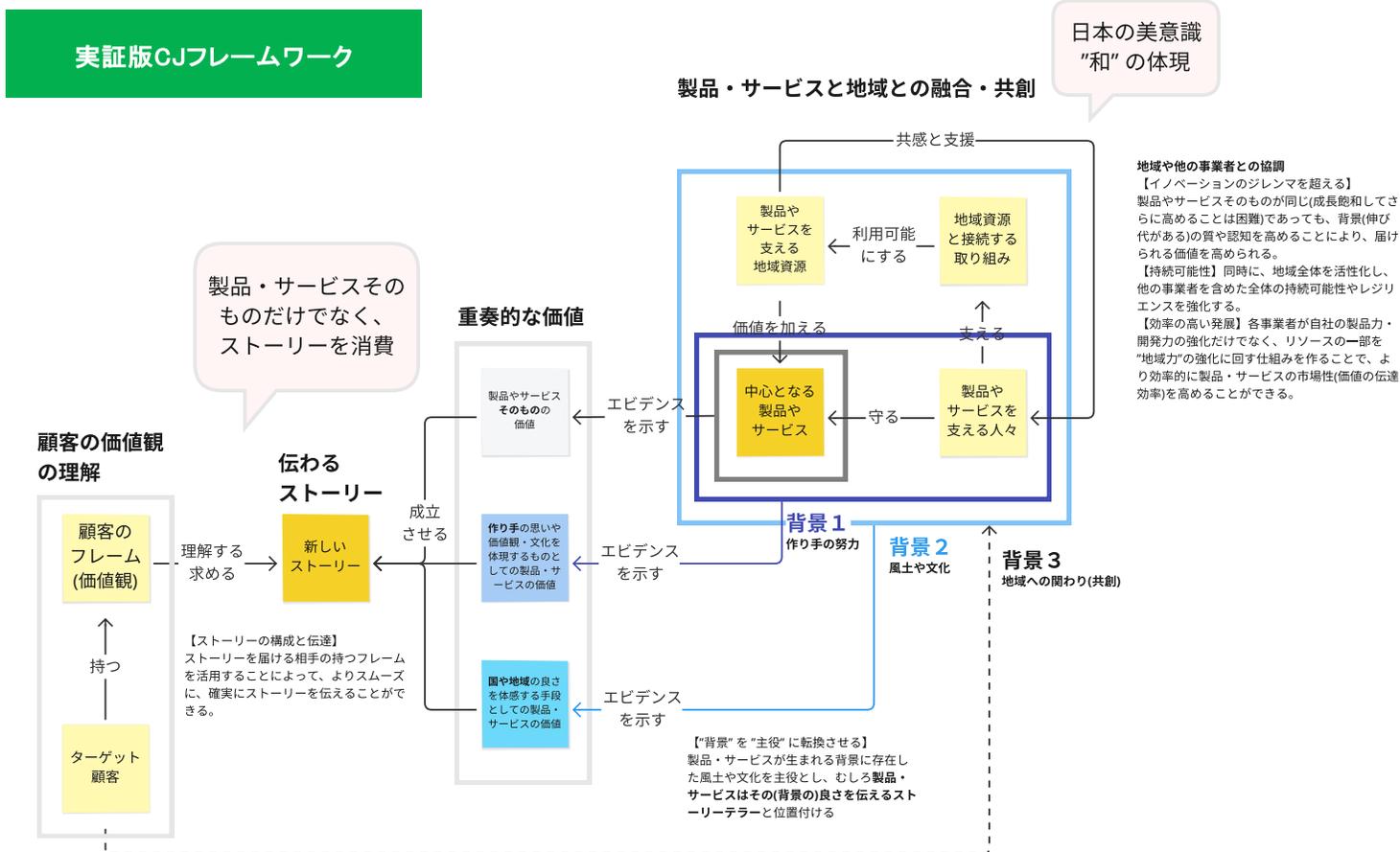


②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

II.成功事例から基盤となるフレームワークの構築について

- 基本構造として、“製品・サービスと地域との融合・共創”という大きく3つの部分から成り立っている。
- 3つの価値が“重奏的な価値”を下支えし、合わさって“伝わるストーリー”となってターゲット顧客にむけて発信されるものになることを示している。
- そしてストーリーは、顧客側の価値観のフレームにマッチしている必要があることも示している。





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

Ⅲ.フレームワークの構築の手順A

- 慶應SDMIにて公開されている事例を分析。事例を読み込み、以下の2点を中心に各人の視点でフレームワーク構築のポイントを探った。
 - どのような要素によって成り立っているのか
 - 要素の関係性がどのようにになっているのか

事例分析をしました（その1）

事例No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業者	NARISAWA	株式会社樹田酒造店 株式会社白岩酒造	和多屋別荘	ザ・リッツ・カール トン日光	株式会社GREENCOL LAR	ちば醤油株式会社	株式会社KURABITO STAY / 橘倉酒造株式会社	オタフクソース株式 会社 / 株式会社TSSプロダ クション	Matoborwa Co. Ltd. (マトボルワ)	株式会社虎屋
モデル事例	イノベティブ里山 キュイジーヌ	アッサンブラージュ 製法日本酒“IWA”	ワーケーションオフ イス、ティーツーリ ズム、地産地消費	インターナショナル ラグジュアリーホ テルと歴史との共存	「表旬」「裏旬」の 二拠点栽培による日 本フルーツの周年栽 培	海外での「地産地消 」の醤油づくり	酒蔵での本物の酒造 りに参加できる唯一 の酒蔵ツーリズム	海外でのオンライン 料理教室やYouTube 配信による新規販路 開拓	干しいもづくりの技 術伝承と品種開発	和菓子の自然共生ス イーツとしてのプラ ンディング
代表者	成澤由浩氏	樹田隆一郎氏 / リシャール・ジョフ ロワ氏	小原嘉元氏	細谷真規氏・早坂心 吾氏・田中基規氏	大場修氏・小泉慎氏 ・鶴木裕介氏	飯田恭介氏・佐々木 優大氏	田澤麻里香氏 / 井出平氏	洪輝星氏 / 白神道空氏	長谷川竜生氏	黒川光晴氏
事業 ジャンル	料理・レストラン	日本酒	旅館	ラグジュアリーホテ ル	農業（日本フルーツ ）	醤油	蔵人体験	お好みソース	干しいも	和菓子
	里山 文化 × 料理	ワインの 製法 × 日本酒	ワーケ ション × 日本 旅館	ラグジュアリー ホテル × 日光	二拠点 栽培 × 農業 フルーツ	海外での 地産地消 × 醤油	ツーリス ム × 酒蔵	動画配信 プラットフォーム × 地域の 食文化	海外での 食文化 × 干しいも	ブランド ベース × 和菓子

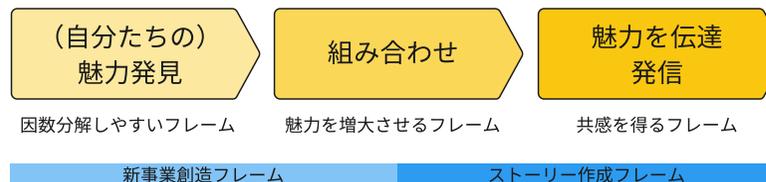
<仮説>

選ばれている事例は、
掛け合わせによって生まれている



<アウトプット案>

フレームワークは3つ必要？ 2つに統合できる？





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

Ⅲ.フレームワークの構築の手順B

- 慶應SDMIにて公開されている事例を分析。事例を読み込み、以下の2点を中心に各人の視点でフレームワーク構築のポイントを探った。
 - どのような要素によって成り立っているのか
 - 要素の関係性がどのようにになっているのか

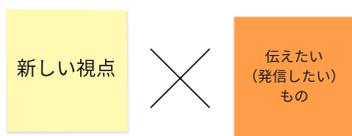
事例分析をしました（その1）

事例No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業者	NARISAWA	株式会社樹田酒造店 ／株式会社白岩酒造	和多屋別荘	ザ・リッツ・カール トン日光	株式会社GREENCOL LAR	ちば醤油株式会社	株式会社KURABITO STAY ／ 橋倉酒造株式会社	オタフクソース株式 会社 ／ 株式会社TSSプロダ クション	Matoborwa Co. Ltd. (マトボルワ)	株式会社虎摩
モデル事例	イノベティブ里山 キュイジーヌ	アッサンブラージュ 製法日本酒“IWA”	ワーケーションオフ イス、ティーツーリ ズム、地産地消費	インターナショナル なラグジュアリーホ テルと歴史との共存	「表旬」「裏旬」の 二拠点栽培による日 本フルーツの周年裁 培	海外での「地産地消 」の醤油づくり	酒蔵での本物の酒造 りに参加できる唯一 の酒蔵ツーリズム	海外でのオンライン 料理教室やYouTube 配信による新規販路 開拓	干しいもづくりの技 術伝承と品種開発	和菓子の自然ま スイーツとしての エンディング
代表者	成澤由浩氏	樹田隆一郎氏 ／ リシヤール・ジョフ ロフ氏	小原嘉元氏	細谷真規氏・早坂心 吾氏・田中基規氏	大場修氏・小泉慎氏 ・鍋木裕介氏	飯田恭介氏・佐々木 優大氏	田澤麻里香氏 ／ 井出平氏	洪輝皇氏 ／ 白神道空氏	長谷川竜生氏	黒川光晴氏
事業 ジャンル	料理・レストラン	日本酒	旅館	ラグジュアリーホテ ル	農業（日本フルーツ ）	醤油	蔵人体験	お好みソース	干しいも	和菓子
	里山 文化 × 料理	ワインの 製法 × 日本酒	ワーケ ーション × 日本 旅館	ラグジュアリー ホテル × 日光	二拠点 栽培 × 農業 フルーツ	海外での 地産地消 × 醤油	ツーリズム × 酒蔵	動画配信 プラットフォーム × 地域の 食文化	海外での 食文化 × 干しいも	プラント ベース × 和菓子

仮説：
単純化すると“魅力として”伝えたいものと、その魅力を増すためのや伝え易くする新しい視点のかけ合わせなのではないか？

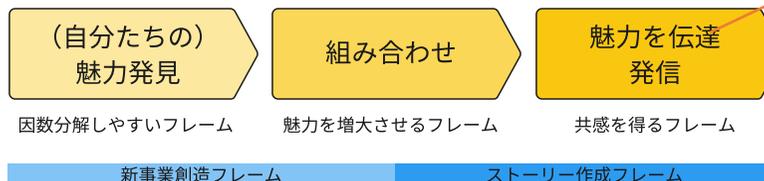
<仮説>

選ばれている事例は、
掛け合わせによって生まれている



<アウトプット案>

フレームワークは3つ必要？ 2つに統合できる？



新事業創造フレーム

ストーリー作成フレーム

仮説
フレームワークは左の3つのフェーズごとに必要ではないか？



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

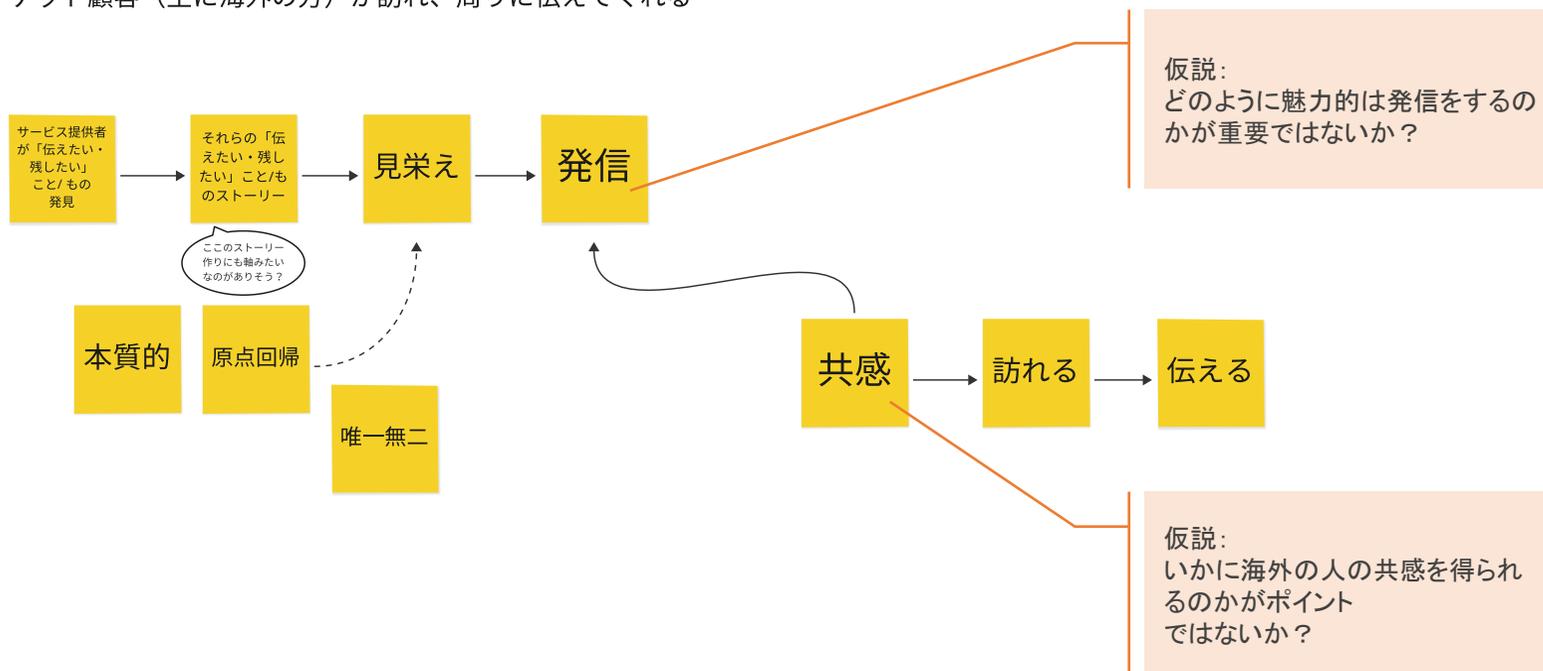
Ⅲ.フレームワークの構築の手順C

- 慶應SDMIにて公開されている事例を分析。事例を読み込み、以下の2点を中心に各人の視点でフレームワーク構築のポイントを探った。
 - どのような要素によって成り立っているのか
 - 要素の関係性がどのようにになっているのか

<仮説>

以下の流れで各事例は成功しているように思える

- サービス提供者の視点から伝えたいことのストーリーを作成
- 共感を得られるように整え発信する
- ターゲット顧客（主に海外の方）が訪れ、周りに伝えてくれる





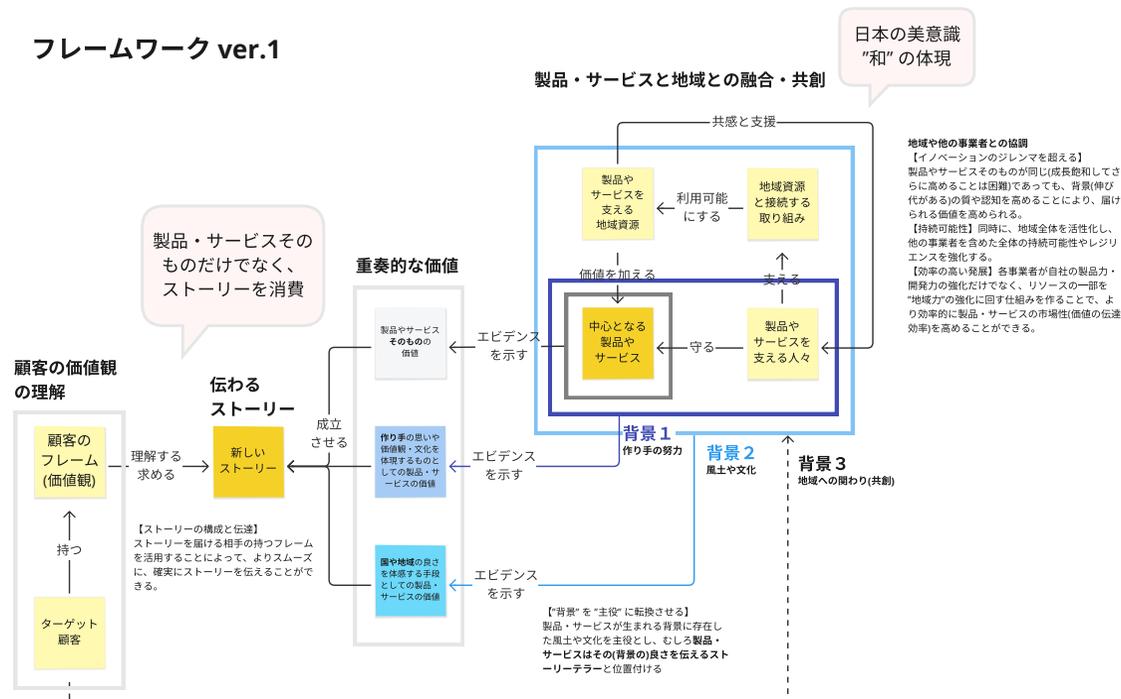
②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

Ⅲ.フレームワークの構築の手順D

- A~Dまでの内容を踏まえ、以下のポイントでフレームの見直し・再構築を実施した。
 - 各要素間の関係性を、多くの事例で共通的なものになるように見直した
 - また、価値を下支えするものとして、製品・サービス単体だけでなく、“作り手の魅力” “風土や文化” “地域への関わり(共創)”という3つの背景も重要であることを示すようにした
 - 自分たちの魅力を見つけるまたは再発見する部分、それを価値として明確化させる部分、そしてターゲット顧客の価値観に合わせて伝わるストーリーとして構築する部分の3つを1つのフレームに統合した

フレームワーク ver.1





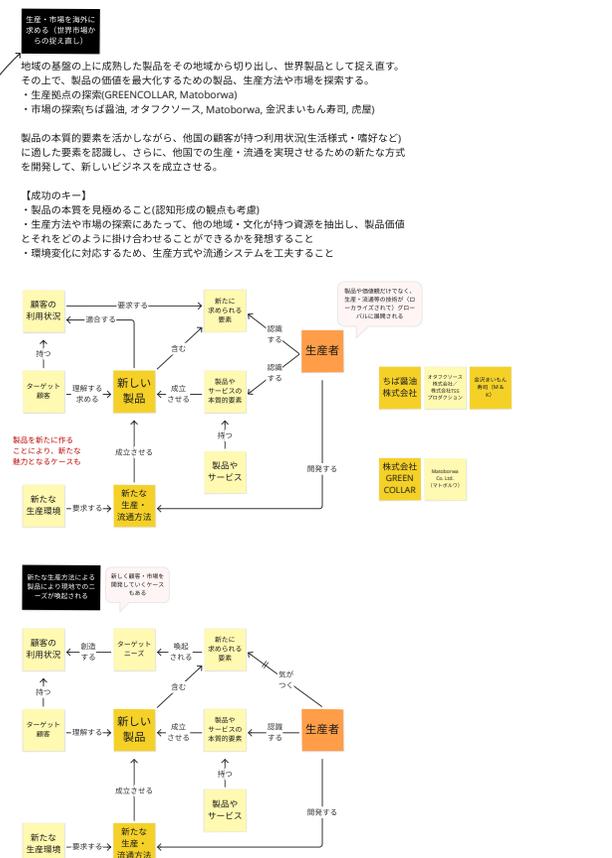
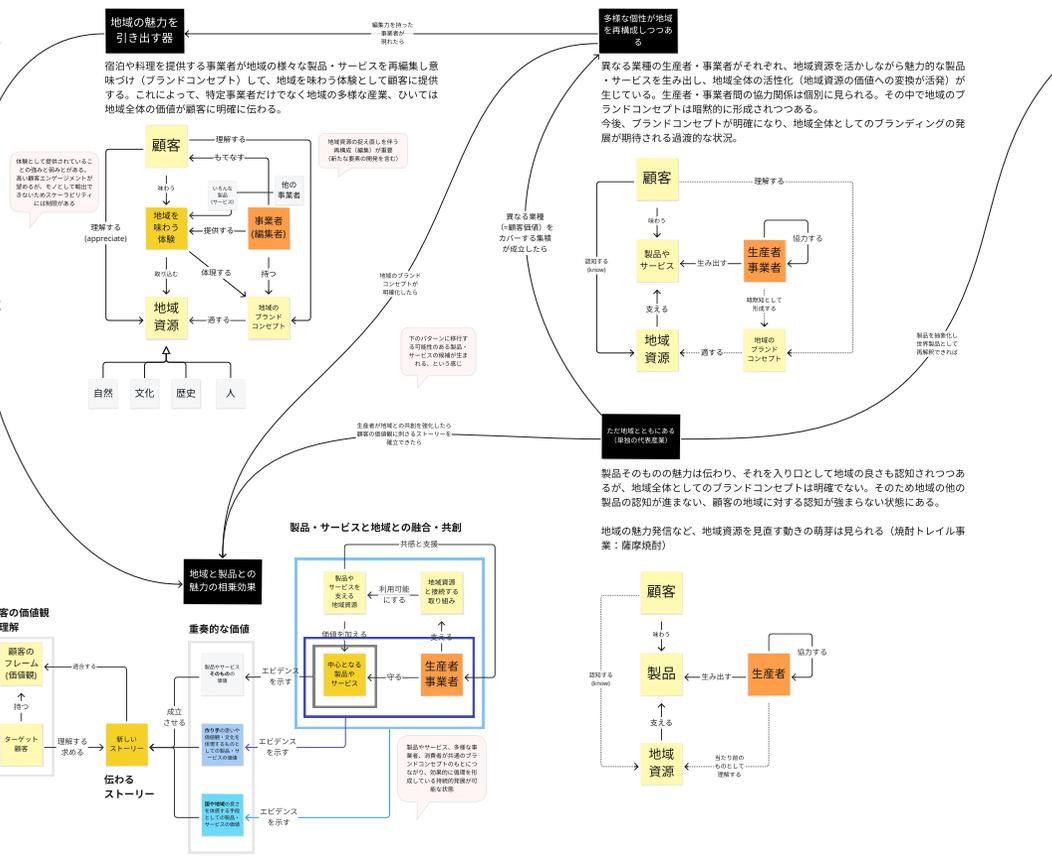
②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

IV.事例別にフィットする5パターンのフレームワーク構築

- 構成要素およびその関係性が異なる部分がある成功モデル事例が存在するため、フレームワークを再構築しよりフィットするものとするために5パターンをテスト作成。ただし、成功パターンの展開に向けて複雑になりすぎるため、「汎用化」したフレームを使用することとした。

パターン間の相互関係
(想定される発展の経路)





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

V.フレームワークの実証に向けたワークショップ：プログラム設計

- CJPF事例から抽出したフレームを活用し、事業者が自らの事業を海外顧客にアピールするためのストーリーを考え、事業を捉え直し新たな展開の可能性に気づく、ストーリー探索ワークショップを設計。

ワークショップ概要

■目的

- 参加者にフレームを理解いただき、CJPFにおける取組の価値を感じていただく。フレームの適用を試み、事業者からフィードバックを得て洗練させる
- 事業者に、伝わるストーリー構成の体験を通じて海外展開の可能性に気づいていただく。また互いにストーリーを共有することで、互いの共感・仲間作りを行う

■参加者：10-20名ほど(会場に入れば30名でもOK)

- [主]提供している製品やサービスの価値を海外にアピールする方法がつかめずにいる事業者
- [副]魅力的な製品やサービスを保有していながら、それを海外に売り込むことにあまり関心を持っていない事業者
- [副]事業の価値を海外にアピールするストーリーをすでに持っている事業者

■実施の形式：個人での検討とグループワーク

- [個人検討]フレームに沿って自らの事業を分析し、紙のワークシートに記入する
- [グループワーク]数名ずつグループを作り、互いに各自の事業に関する分析や、その結果を用いたストーリーを共有する

プログラム：全体で4時間を想定(休憩を含む)

【第1部】事例とフレームの紹介 [60分]

- 1)事例紹介(CJPFで紹介した事例から)
 - 事業者の方ご本人から、事業の内容や海外顧客へのアピール方法などをご説明いただく
- 2)フレーム紹介
 - ストーリーを構成するためのフレームを説明。事例(複数)に適用した具体例を示す

【第2部】フレームを適用したストーリーづくりの体感[170分]

- 1)【個人検討】フレームに沿って自らの事業を整理
 - 作っているものは何か、その良さ(そのもの)
 - 作り手のこだわり:工程の特徴,素材や技術の特徴,作り手の思いや苦労など
 - ものづくりに関わる風土(文化,自然,歴史など)
- 2)【グループワーク】それぞれの事業について対話
 - 3人組で互いに語り、質問やフィードバックを返す
- 3)【個人検討】ストーリーの構成
 - 海外顧客の想定:伝える相手,相手が日本に対して持っているイメージ
 - ストーリー:検討した要素を使って語る

私が提供しているのは__です。__という点で他とは圧倒的に違います。
その違いを生むのは__です。これは__によって生み出される唯一無二のものです。
それを支えているのは__という環境です。その環境の豊かさを守るため地域とともに__という活動を行なっています。

4)【グループワーク】ストーリーの共有

- 3人組で互いに語り、質問やフィードバックを返す



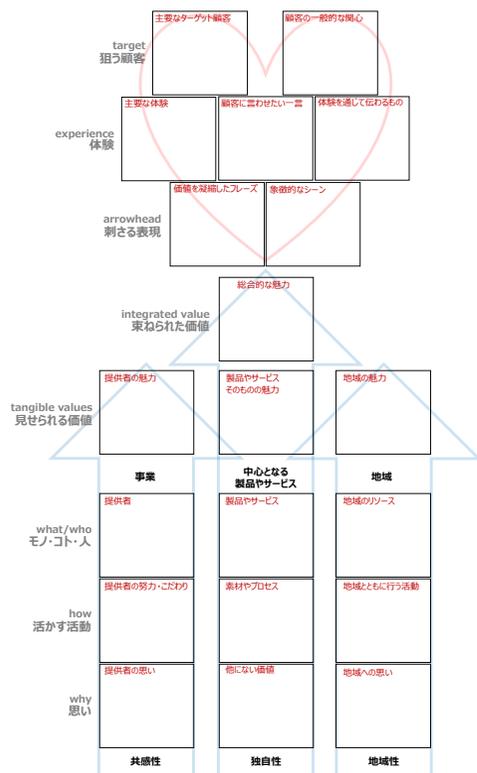
②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

V.フレームワークの実証に向けたワークショップ：ワークシート設計

- ワークショップで参加者が思考を整理しやすくするために、汎用フレームを詳細化かつ平易な表現に直し再構築したワークショップ用フレームワークを作成。また、それぞれの事業を考えやすいように、抽出したフレームワークの構造の形を整えた。全体は以下の2つのパートで構成される。

ワークショップ用フレームワーク



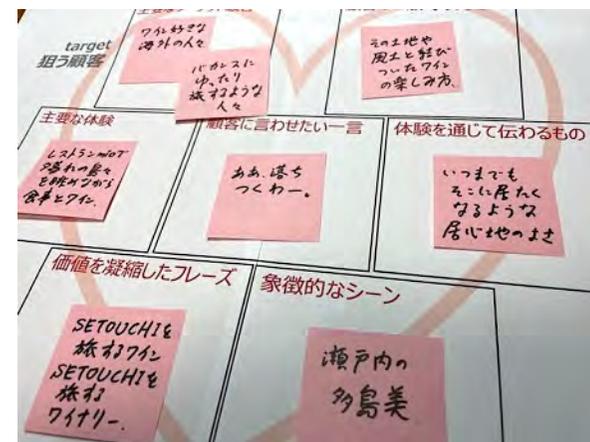
心に届く体験

ターゲット顧客を設定し、その人々がどんな体験を喜ぶのか、また、その体験に人々を導くためにどんな言葉や画像を用いるのか

3本の矢

中心となる製品やサービス,提供者,地域
それぞれの魅力を明らかにする。事実に基づいて価値を伝えるため、それぞれの視点で分析する

作業イメージ



ワークショップ参加者は、個人で(または同じ事業に関わる数人で話しながら)フレームワークを印刷したワークシートに付箋を貼りながら、自らの事業に関するストーリーを検討。

ワークショップ途中で他の事業者と検討内容を互いに紹介し合う時間を設ける。これによって、検討のヒント(捉え方,伝え方)が得られるとともに、他の事業者の考えを知り仲間づくりを促進する効果を狙う。



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

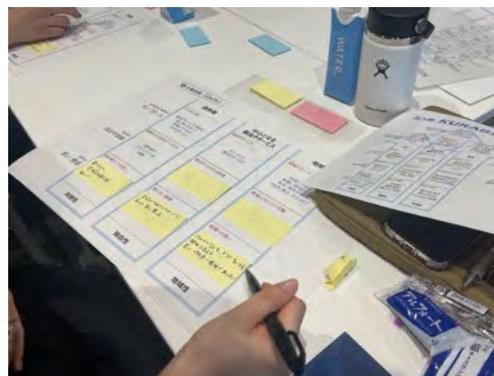
V.フレームワークの実証に向けたワークショップ：ワークショップ実施

- CJPFの活動紹介、瀬戸内醸造所(太田様)、KURABITO STAY(田澤様)の事例紹介を経て、フレームワークを説明し参加者に自身の事業について記入してもらうこと、共有してお互いに刺激を受けて気づきを得てもらうことを4時間半にまとめて実施するタイムラインを構築してワークショップを実施した。

プログラム案

開始時刻	終了時刻	予定分数	担当	内容
12:30	12:40	10分	事務局	事務局からお話
12:40	13:50	70分	事業者	事業の内容や海外へのアピールについて紹介
13:50	14:10	20分	SDM	フレーム説明
14:10	14:20	10分		休憩
14:20	14:25	5分		WS概要説明
14:25	14:30	5分		①自らの事業を振り返る[説明]
14:30	14:46	16分		①自らの事業を振り返る[個別検討]
14:46	14:51	5分	SDM	②地域とのつながりを意識する[説明]
14:51	15:07	16分		②地域とのつながりを意識する[個別検討]
15:07	15:10	3分		グループ共有[説明]
15:10	15:30	20分		グループ共有[グループ対話]
15:30	15:40	10分		休憩
15:40	15:45	5分		③ターゲット顧客を設定・分析する[説明]
15:45	16:01	16分		③ターゲット顧客を設定・分析する[個別検討]
16:01	16:06	5分		④効果的な伝え方をデザインする[説明]
16:06	16:22	16分	SDM	④効果的な伝え方をデザインする[個別検討]
16:22	16:25	3分		グループ共有[説明]
16:25	16:45	20分		グループ共有[グループ対話]
16:45	16:50	5分		まとめ
16:50	17:00	10分	事務局	ご連絡など

実施イメージ(会場:ポットラック ヤエス)





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

V.フレームワークの実証に向けたワークショップ:ワークショップ集客

- ワークショップにおける集客の結果は以下の通り。



クールジャパン官民連携プラットフォーム 広告

【ワークショップ開催】内閣府クールジャパン×慶應SDMが共同開発した「事業のストーリーを磨き上げるフレームワーク」を体感しませんか

地域で事業を起こしている人、これから起業する方へ

内閣府クールジャパン・慶應 SDM 共同開催
事業のストーリーを磨き上げる
ワークショップ開催!
地域の事業に、ストーリーで新たな力を

特別講演

株式会社 KURABITO STAY 代表取締役社長 田澤 麻里香氏
瀬戸内醸造所株式会社 代表取締役 太田 祐也氏
慶應義塾大学大学院 システムデザインマネジメント研究科 教授 白坂 成功氏 (しろさか せいこう)

2024.03.13 @POTLUCK YAESU (東京ミッドタウン八重洲) **参加無料**

CJPF クールジャパン官民連携プラットフォーム

qsx.jp
事業のストーリーを磨くワークショップ [詳しくはこちら](#)

「いいね!」 コメントする シェアする

集客広告クリエイティブ

地域で事業を起こしている人、これから起業する方へ

内閣府クールジャパン・慶應 SDM 共同開催
事業のストーリーを磨き上げる
ワークショップ開催!
地域の事業に、ストーリーで新たな力を

特別講演

株式会社 KURABITO STAY 代表取締役社長 田澤 麻里香氏
瀬戸内醸造所株式会社 代表取締役 太田 祐也氏
ワークショップモデル監修 慶應義塾大学大学院 システムデザインマネジメント研究科 教授 白坂 成功氏 (しろさか せいこう)

2024.03.13 @POTLUCK YAESU (東京ミッドタウン八重洲) **参加無料**

CJPF クールジャパン官民連携プラットフォーム

地域で事業を起こしている人、これから起業する方へ

内閣府クールジャパン・慶應 SDM 共同開催
事業のストーリーを磨き上げる
ワークショップ開催!
地域の事業に、ストーリーで新たな力を

プログラム

01 フレームを用いた事業ストーリーの磨き上げ体験
02 ストーリーの共有と対話によるフィードバック

ワークショップモデル監修 慶應義塾大学大学院 システムデザインマネジメント研究科 教授 白坂 成功氏 (しろさか せいこう)

2024.03.13 @POTLUCK YAESU (東京ミッドタウン八重洲) **参加無料**

CJPF クールジャパン官民連携プラットフォーム

キャンペーン名	年月	媒体	IMP	Click	CTR
CJPF総研_WS集客	2024年2月	Meta(SNS)広告	202,159	1,310	0.65%
合計			202,159	1,310	0.65%



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

V.フレームワークの実証に向けたワークショップ：ワークショップの応募者分析(アンケート調査)

- ワークショップ参加者のアンケート結果は以下の通り。20～49歳までの参加者が60%以上を占めた。また大手起業家の参加者も散見された。

ワークショップ応募時の属性

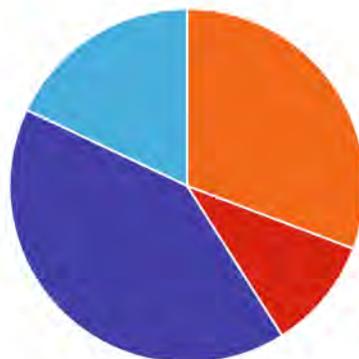
▼応募者の年代

19歳以下	1件 (2.6%)
20～29歳	7件 (17.9%)
30～39歳	12件 (30.8%)
40～49歳	6件 (15.4%)
50～59歳	11件 (28.2%)
60～69歳	2件 (5.1%)
70～79歳	--件 (--%)
80歳以上	--件 (--%)



▼応募時の認知経路

Facebook広告	12件 (30.8%)
Instagram広告	4件 (10.3%)
知人の紹介	16件 (41.0%)
その他	7件 (17.9%)



応募者の所属

東京学芸大学附属高校
個人
株式会社晴富
名古屋テレビ事業
福島市
エクスポート・ジャパン株式
日本電気株式会社
全日本空輸株式会社
エクスポート・ジャパン株式会社
株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル
エクスポート・ジャパン株式会社
全日本空輸株式会社
日本映像翻訳アカデミー株式会社
(株)Japan Discovery
アチーブメント株式会社
(株)CVSベイエリア
株式会社ランドビジネス
株式会社電通
Ediee LLC
株式会社西海クリエイティブカンパニー
hitokoto
株式会社響
一般財団法人デジタルスマートシティ推進財団
ラクワクKANSAI
株式会社MISO SOUP
インテージヘルスケア/清瀬第四中
株式会社CruX
株式会社COCO HARETE
gftf
株式会社レイクス21



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

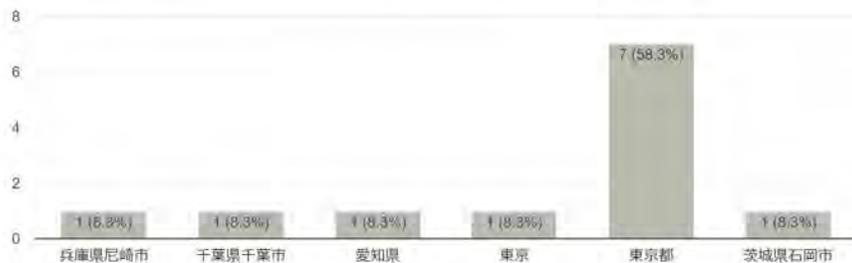
V.フレームワークの実証に向けたワークショップ:ワークショップの参加者分析(アンケート調査)

・「期待が持てる場だった」と答えた参加者は83%以上。理解しやすかった、刺激を受けたなどポジティブなコメントが多数見受けられた。

ワークショップ参加者の属性

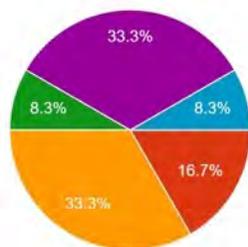
本日はどちらの地域からご参加されましたか？(県、市)

12件の回答



年代を教えてください。

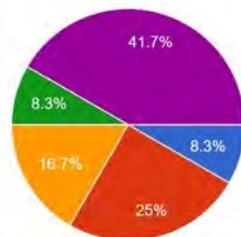
12件の回答



● 10代
● 20代
● 30代
● 40代
● 50代
● 60代

本日のイベントはどこからご参加いただきましたか？

12件の回答



● Instagram広告
● Facebook広告
● メルマガ(CJPFアワード、CJPF関係)
● ミッドタウン八重洲ポットラックのホームページ
● 知人の紹介

第1部:CJPFについて、事業者の講演、対談セッションについて

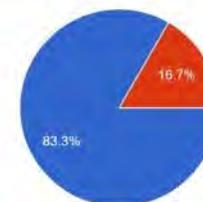
- ・ 事業の魅力もあったが、各自のパーソナルストーリーが興味深かった。
- ・ お話が具体的で簡潔、また想いが伝わる内容でした。
- ・ 事業を始めた経緯や、思いについて伺えて面白かったです。
- ・ 事業者の考え方、思いなどを直接聞くことができ非常に勉強になりました。
- ・ 田澤様の1時間の滞在者を100人よりも100時間の滞在者を1名とりたいという思い。
- ・ 田澤さんと太田さんの地域に対する思いを生で感じる事ができ勇気づけられた。
- ・ 全ての内容が良く、少し時間が足らなかった。

第2部:事業のストーリーを磨き上げるワークショップについて

- ・ わかりやすかった。
- ・ ワークショップ次回も参加型で期待しております。
- ・ 書いたことを深掘りしたり、発表する機会もないので発見や意見を頂けてとても為になりました。
- ・ 提供したい特定な製品・体験などがなく少し記入しにくかったところもあった。一部の講演がヒントとなり短時間にも関わらず比較的理解しやすかった。
- ・ とても良くできたテンプレートで、考えをまとめることができました。
- ・ 非常に良かった。

全体を通して参加者同士、地域間をこえたつながりなど、期待が持てる場になりましたか？

12件の回答



● そう思う
● あまりそう思わなかった



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開 3) フレーム化による成功パターンの展開

V.フレームワークの実証に向けたワークショップ：ワークショップの参加者分析(アンケート調査)

- ・「期待が持てる場だった」と答えた参加者は83%以上。理解しやすかった、刺激を受けたなどポジティブなコメントが多数見受けられた。

応募者の期待

■ワークショップに期待していること・当日聞いてみたい内容があれば教えてください。

- ・ショート動画での地域創生について
- ・地方格差、人在不足等の地方での課題とそれに対する取り組みについてお話を聞きたい。また、現在そのような取り組みをしている方と繋がっていきたくて考えております。
- ・地域に入って事業を起こす中で、既存在住者の方の理解をどのように得ていったのか・携わるメンバーのモチベーションを保つメンタルマネジメント・周りの方との関わりの中で主体となった方(クールジャパン事業者の方)もまた壁に当たることだらけの中で事業を起こす・永続するビジネスモデルにすることのゴール以外に意識したことはあるか
- ・地元ではあれど、今だから話せるカルチャーショックだったこと等の裏側も聞きたいです。
- ・観光資源を磨き上げるためにどのように官民連携しているのか・行政がすべき支援は何なのか・ストーリー性に共感してもらうための方法
- ・当日は恐縮ながら途中で退室するため、後方にて拝聴できますと幸いです。
- ・ガストロノミー×地域がどのように魅力を生み出すのか。
- ・地方、地域という切り口だからこそその観点や、考えるためのフレームワーク、汎用的な事例を特にお聞きしたいです。
- ・地方再生や地方連携の取組みの具体策に大変興味が御座います！ご苦勞や取組みの具現化のお話をお聞きできればと存じます！
- ・何か一緒に、プロジェクトを起こせる人と出会えたら、嬉しいです。
- ・取り組み事例や実行にあたっての課題/解決策・地域課題の本質の見極めのポイント
- ・良い刺激を受けて事業を成長させる機会を得られたらと思ひ参加を希望します。
- ・新しい事を始めるきっかけ等
- ・地域で、持続可能な活動であり続けるためのマネタイズの選択肢
- ・「選ばれる」ストーリーの考え方、ポイント。
- ・新しい発想や感覚と出会えることが楽しみです
- ・昨年の2023年には、日本全国から日本酒蔵40蔵を招いた【SAKE JAPAN EXPO】というイベントも行いました。<https://sake-japan-expo.jp>海外開催も見据えていますので、なにか面白い企画や連携ができますと幸いです。宜しくお願ひ致します。
- ・仲間作り
- ・地域の資産は見つかるが、他の地域との差別化をどうするのか、むしろ差別化までやる必要があるのか、悩んでいます。
- ・説明にあったフレームに興味があるのでそれを詳しく学びたいと考えます。また講演をされる方々のご経験をうかがいたいと思ひます。海外に向けた発信がある場合はメッセージの作り方が国内版と異なるかと思ひますので、その辺りについてもお聞きしたいと考えます。

(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

①CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査

②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装

- 1.内閣府と CJPF にて実施される各プロジェクトにおける事務局
- 2.各プロジェクトの実施主体となるアクティブな人材、企業、教育・研究機関等の提案と名簿作成
- 3.各プロジェクトの管理運営の伴走、報告書の取り纏め
- 4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開
 - 1) 2)成功モデルケースの抽出・調査
 - 3)フレーム化による成功パターンの展

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援

③打合せ及び会議の運営並びに各種報告書の作成





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

◆ 以下のコンセプトをベースに、「cjpg.jp」内で関係者のコミュニケーション・共創を活性化を目的にコミュニティサイト「CJPF LAB」を構築。

オンラインにおける「クールジャパンの担い手」のコミュニティを構築し、新しい共創のあり方を模索する。

クールジャパン(以下CJ)官民連携プラットフォームでは、これまでの調査事業において、日本全国のCJを牽引する事業者などの「担い手」の皆様との関係性を構築してまいりました。

この関係性を「点」で終わらせることなく、「線」「面」に繋げ、担い手同志の共創の加速・創出の支援に繋げていくためにも、コミュニティ基盤(プラットフォーム)の構築と運用の実証事業を行う運びとなりました。

本事業を通じて「地域」そして「人」が主役であるためのCJPF「コミュニティ」基盤を実装し、コミュニティ化による共創の創出を推進してまいります。

①ネットワークの構築



②ネットワークの成長



③コミュニティの形成と多様で持続的な活動へ

③-1 多くのコミュニティの形成



③-2 持続的な活動



✓ 「win-win」の関係構築
✓ 新たなビジネスの展開



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

◆ 以下の機能をCJPF LABコミュニティサイトに実装。メンバーに登録いただき、情報発信や共有など他事業者様との交流の実現を目指した。

実装機能

01



セキュアログイン

LINEを連携いただくことで
パスワードを保持することなく、
本人認証を行なっていただけます。

02



プロフィールの登録・閲覧

プロフィールを登録いただくことで、
事業でのお取り組み内容などをPRすることも可能です。
また、他事業者様と繋がっていただくことも可能です。

03



情報の発信・事業のPR

事業の内容や取り組みや自社のイベントの告知など、
情報共有はもちろん、登録者とのコミュニケーション等、
事業者様同士の「SNS」のようにご使用いただけます。

04



CJPF LAB限定のイベント (ディスカッションやセッション等の場を想定)

CJPF LAB内の成功事例、識者によるナレッジ共有等
本コミュニティ限定のイベントにご参加いただけます。

画面イメージ



コミュニティサイト
ローンチ



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：
5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

◆ 本年度の実証段階「CJPF LAB」として、以下の大きく3つのページを開発し2024年1月9日(火)にローンチを行った。

CJPF LAB TOP



CJPF LAB プロフィール



CJPF LAB プロフィール編集



▲徐々に投稿やリアクションも増えつつあり、独自の情報なども投稿されている。

参考 <https://lab.cjpf.jp/>

コミュニティサイト
メンバー参加依頼

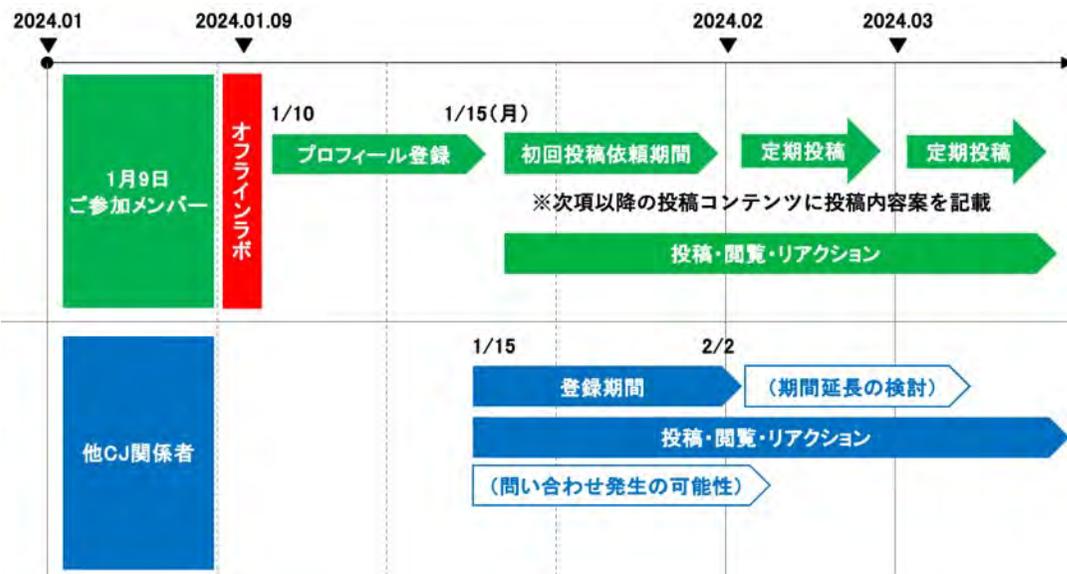


②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

◆「CJPF LAB」ローンチ後、これまでつながりのある事業者、CJプロデューサーを中心に以下のスケジュールにてコミュニティへの参加依頼を行った。

CJPF LABコミュニティ参加スケジュール



ご依頼メール

●●●●様

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
CJPFの事務局担当を務めております●●●●の●●でございます。

この度、内閣府 知的財産戦略推進事務局にて運営しておりますCJPFにおきまして、オンラインコミュニティ「CJPF LAB」をオープンする運びとなりました。

クールジャパン(以下CJ)官民連携プラットフォームでは、これまでの調査事業において、日本全国のCJを牽引する事業者などの「担い手」の皆様との関係性を構築してまいりました。

この関係性を「点」で終わらせることなく、「線」「面」に繋げ、担い手同志の共創の加速・創出の支援に繋げていくためにも、コミュニティ基盤(プラットフォーム)の構築と運用の実証事業を行って参ります。

そこで、●●●●様にも、この「CJPF LAB」に、ぜひご参加いただきたく、ご連絡をさせていただきます。「CJPF LAB」は地域の魅力づくり、地方創生、インバウンドなどの事業に関わる皆様のSNSのようなプラットフォームとなっております。

「CJPF LAB」内におきまして、双方向性をもった情報交換や連携が可能となっております。以下のような、ご参画の利点がございます。

- ①事業者様・経営者様の繋がり
日本の地域を活性する、国内外へ発信する同世代の当事業者様、経営者様同士とのオンライン・オフラインの繋がり形成が可能です。
- ②事業の情報交換
異なる産業、地域の他の事業者様との事業の情報交換が可能です。
- ③地域課題・事業課題の相談
自社、自地域における事業課題の相談や情報交換が可能です。
- ④事業連携の可能性
事業者様同士、今後の事業連携の可能性もござい
- ⑤ナレッジ共有
他、事業者様や地域間におきまして、事例やナレ

もし「CJPF LAB」にご参画いただけるようでしたら、以下の点につきまして、積極的なご参加をお願いいたします。

- ①事業の活動状況の定期的なご共有
- ②ご自身の活動状況の定期的なご共有
- ③事業の成功事例のナレッジの定期的なご共有
- ④イベント等(実施がある場合)の告知の実施
- ⑤他事業者からの相談への応答 等

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご検討のほど、何





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

◆「CJPF LAB」ローンチ後、これまでつながりのある事業者、CJプロデューサーを中心にコミュニティへの参加依頼を行った。

団体名・役職	氏名（敬称略）
株式会社GREENCOLLAR 代表取締役	錦木裕介
株式会社KURABITO STAY 代表取締役	田澤麻里香
瀬戸内醸造所株式会社代表取締役／株式会社フォーシー代表取締役	太田祐也
薩摩酒造株式会社	祝迫智洋
株式会社海士Ento代表取締役	青山敦士
Japan Experience株式会社プロダクト・マネージャー	ダコスタ・レティシア
立命館大学食マネジメント学部准教授	野中朋美
合同会社GOTOKU 代表	アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー
株式会社Oyraa代表取締役社長	コチュ・オヤ
テーブルクロス最高経営責任者CEO	城宝薫
和多屋別荘代表取締役	小原嘉元
ザ・リッツ・カールトン日光セールス&マーケティング部長	田中基規
ちば醤油株式会社代表取締役社長	飯田恭介
ちば醤油株式会社醸造部長	佐々木優大
株式会社今田酒造本店代表取締役社氏	今田美穂
舟屋の宿鍵屋代表	鍵賢吾
一般社団法人気仙沼地域戦略理事・事務局長	小松志大
株式会社ヤマヨ水産4代目代表取締役	小松武
男山本店代表取締役社長	菅原昭彦
男山本店社氏	窪島衣通絵
男山本店前社氏	柏大輔
株式会社エムアンドケイ金沢まいもん寿司代表取締役	木下孝治
織月酒造株式会社4代目代表取締役	堤純子
Barillaマーケティング&TV シェフ	アレックスandro・コビエツロ
鶴岡市観光協会地域プロデューサー	サラ・ミヨ
内閣府クールジャパン官民連携プラットフォームディレクター／株式会社XPJP 価値デザイナー	渡邊賢一
カフェ・カンパニー株式会社代表取締役社長／株式会社グッドイートカンパニ代表取締役CEO	楠本修二郎
慶應義塾大学	白坂成功
日本ガストロノミー学会設立代表／株式会社FOOD LOSS BANK 代表取締役代表	山田早輝子
ジャパン・ワールド・リンク株式会社代表取締役	宮地アングス
国際オタクイベント協会代表／Circle.ms 代表	佐藤一毅
一般社団法人メタ観光推進機構代表理事／日本政府観光局（JNTO）デジタル戦略アドバイザー	牧野友衛
Vegas PR Group 代表	ローレン・ローズ・コーカー
青山社中株式会社筆頭代表CEO	朝比奈一郎
K plus 代表	阿部佳
特定非営利活動法人ツーリズム研究機構副理事長／有限会社サポート・エムツウ代表取締役	伊勢田博志
合同会社ブランドスケープCEO	井上俊彦

コミュニティサイト
メンバー参加依頼



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

◆「CJPF LAB」ローンチ後、これまでつながりのある事業者、CJプロデューサーを中心にコミュニティへの参加依頼を行った。

団体名・役職	氏名（敬称略）
株式会社エムズブランディング代表取締役	鶴殿麻里絵
株式会社丸加取締役第2事業部長	遠藤洋平
株式会社アイティ・コミュニケーションズ 取締役	大塚隆博
一般社団法人国際すし知識認証協会代表理事	風戸正義
株式会社御湯所（旅館、有馬温泉）／株式会社無法庵宗家（アーティストエステート、神戸）／ブランドディレクター	金井良宮
福井大学特任教授	小島慶藏
有限会社フクオカナウ代表取締役／編集長	ニック・サーズ
株式会社ライフブリッジ代表取締役	櫻井亮太郎
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 准教授	篠原靖
株式会社クリップ代表取締役／京都芸術大学非常勤講師	島田昭彦
東北芸術工科大学客員教授	陳内裕樹
のんべえ大学店主	末次庸介
有限会社ミホプロジェクト取締役	武智美保
株式会社ゲン代表取締役／株式会社ライダウェイ代表取締役	達山源市
株式会社TABIKYO JAPAN 代表取締役	田村啓
株式会社沖縄メディア企画月間「沖縄空手通信」編集長	ミゲール・ダルーズ
有限会社マイティー千葉重代表取締役	千葉大貴
東京エアポートレストラン株式会社取締役執行役員	長島博
JEMグループ会長	浜哲郎
木屋旅館支配人	グレブ・バルトロメウス
国際コミュニケーションコンサルタント、作家	ベンジャミン・ポアズ
本木屋本店有限会社代表取締役／一般社団法人dialogue 専務理事	本田勝之助
神戸国際大学教授	毛丹青
株式会社クリエイティブ・ワイズ代表取締役	三宅曜子
DeeperLayer企画代表	村上カオ
株式会社YANA 総合研究所代表取締役	箭内武
株式会社イノベーションアーティストズ代表取締役／瓜生山学園京都芸術大学マンガ学科学科長・准教授	矢野浩二
JTIC. SWISS 代表	山田桂一郎
株式会社美ら地球代表取締役	山田拓
株式会社デンバー豆腐創設者・前社長	山本晴久
MPI Japan Chapter 名誉会長／株式会社Finesse Hospitality Management 代表取締役	山本牧子
well f.m. 一般社団法人ファウンダー・理事	善井靖
関西国際大学国際コミュニケーション学部観光学科教授	李容淑
アイ・エス・ケー合同会社代表	渡邊法子
タイムアウト東京副代表	東谷彰子



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 1) CJPF LABの開発・ローンチ

- ◆ 「CJPF LAB」のローンチにあたって、コアメンバーキックオフイベントを行い、目的と戦略の共有、事業者の交流を行った。
- ◆ 事業のプレゼンテーション後の懇親会では、非常に盛り上がり、参加者の新たなつながりも生まれる場となった。

キックオフイベント概要

■開催時期

2024年1月9日(火) 17:00～

■開催場所

グラントウキョウサウスタワー41F「リCO」

■コンテンツ

- 01.CJPF LABの目的の共有/サイト説明
- 02.LABメンバーの皆様の事業説明
- 03.メンバーの皆様の懇親会

■当日の参加メンバー

Entô: 青山 敦士様(当日ご欠席)
瀬戸内醸造所: 太田 祐也様
Oyraa: コチュ オヤ様
テーブルクロス: 城宝 薫様
KURABITO STAY: 田澤 麻里香様
早稲田大学: 野中 朋美様
Japan Experience: レティシア ダコスタ様
GREEN COLLAR: 鍋木 裕介様

本日のタイムテーブル		
17:00	01: 開会のご挨拶	
17:05	02: CJPF LAB開設の目的	
17:15	03: 本日も参加の皆様のご紹介	
18:30	04: CJPF総研におけるワークショップのご説明	
18:45	05: 懇親会	
20:10	06: 閉会のご挨拶	
20:15	07: 終了	



CJPF

Cool Japan Public-Private Partnership Platform

クールジャパン官民連携プラットフォーム

(cjpf.jp)



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 2) cjpf.jpのUIデザインエンハンス

- ◆ 調査サイトはより「人」「地域」が主役であるという戦略を反映したデザインコンセプトをUI/UXデザインに反映。
- ◆ 見た目だけではなく、よりサイト内での検索性や、SNSへの集客生を高めるUI/UXデザインのエンハンスを行った。

TOPページ



UI

コンセプトを表現するムービー部分をより「人」と「地域」を体現する内容に変更



UI

公式SNSへの流入を目的にスクロールに追従するSNSボタンを実装

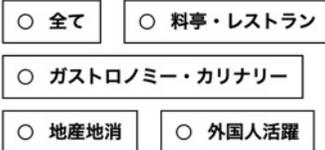


↑マウスに合わせて追従



UI

タグと直感的に認識しやすいデザインへのデザイン変更





②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 2) cjpf.jpのUIデザインエンハンス

◆ 調査サイトのコンテンツを、事業者などのユーザーがより「検索しやすく」「読みやすい」状態を目指し、大規模なメニューのデザイン改修を行った。

メニュー

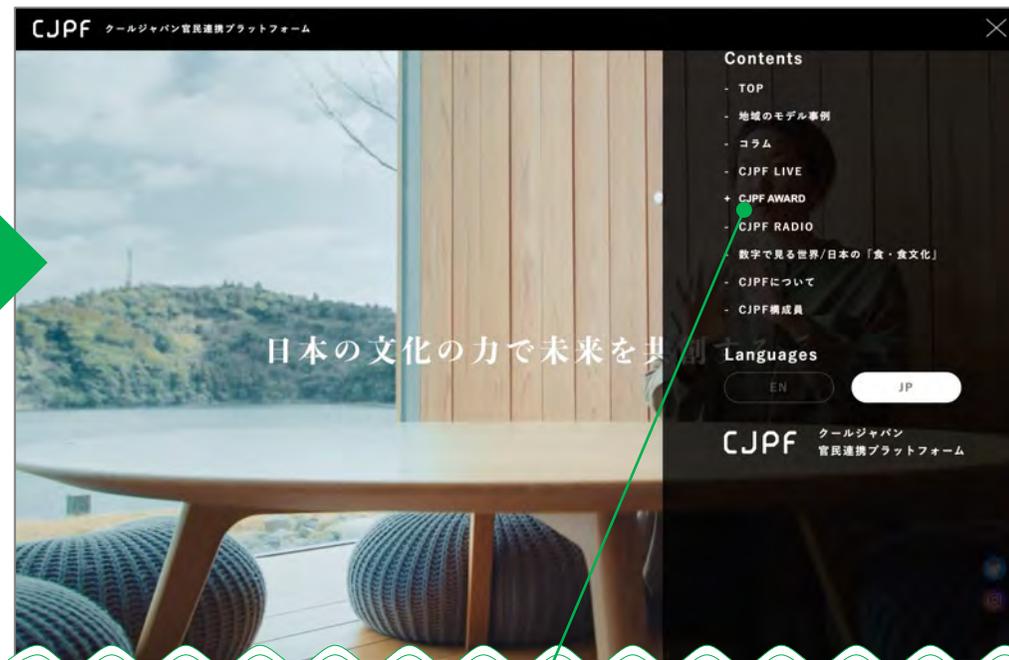
Before



UI

PCユーザーが多いことから、一般的なPCサイトのナビゲーションとしていた

After



UI

スマートフォンユーザーの増加も見られるため「ハンバーガーメニュー」を開発・実装。PCからも見やすく、遷移先を選択しやすいUIデザインに改修を行った



②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 2) cjpf.jpのUIデザインエンハンス

- ◆ 記事ページに遷移することなく動画が閲覧できるよう、一覧ページにYouTubeの動画ページに遷移するバナーを設置しユーザビリティを高めた。
- ◆ 記事ページ内のアクセシビリティを高めるためタイトル文字のデザインエンハンスを実施。フォトライブラリ機能も開発・実装を行った。

成功モデル事例

成功モデル事例一覧



UI

記事ページに遷移することなく動画が閲覧できるよう、一覧ページのサムネイルにYouTubeの動画ページに遷移するバナーを設置

成功モデル事例詳細



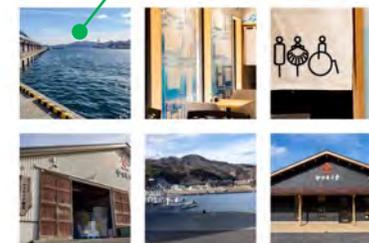
UI

より読みやすくアクセシビリティを高めるために、タイトルデザインを変更

UI

より成功モデル事例の「ストーリー」が伝わる構成とするため、フォトライブラリ機能を開発・実装

Photo Stories



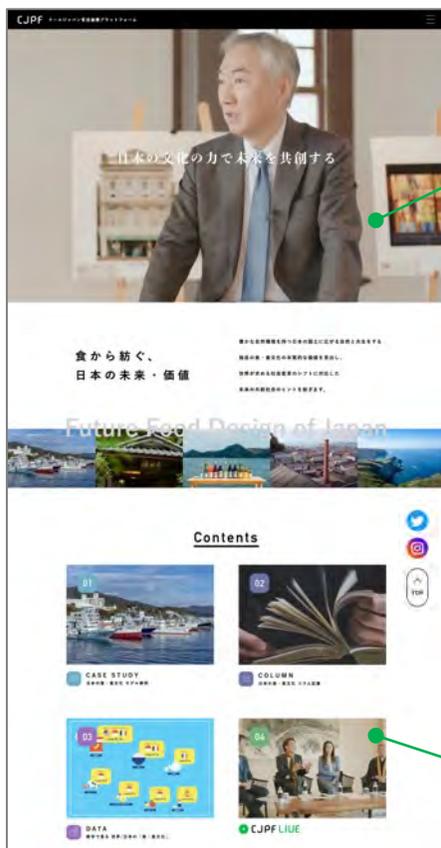


②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装：

5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援 2) cjpf.jpのUIデザインエンハンス

- ◆ 調査サイトはより「人」「地域」が主役であるという戦略を反映したデザインコンセプトをUI/UXデザインに反映。
- ◆ また、見た目だけではなく、よりサイト内での検索性や、SNSへの集客生を高めるUI/UXデザインのエンハンスを行った。

TOPページ



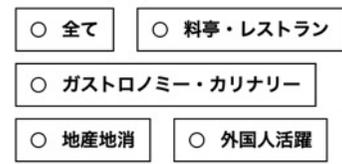
UI
コンセプトを表現するムービー部分をより「人」と「地域」を体現する内容に変更



UI
公式SNSへの流入を目的にスクロールに追従するSNSボタンを実装



UI
タグと直感的に認識しやすいデザインへのデザイン変更



(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

①CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査

②CJPFにおける各種CJプロジェクトの運営と評価項目の実装

- 1.内閣府と CJPF にて実施される各プロジェクトにおける事務局
- 2.各プロジェクトの実施主体となるアクティブな人材、企業、教育・研究機関等の提案と名簿作成
- 3.各プロジェクトの管理運営の伴走、報告書の取り纏め
- 4.事業モデルケースの複数の「成功パターン」を発見、定義と会員、クールジャパン・プロデューサー及び関係省庁等へ横展開
 - 1) 2)成功モデルケースの抽出・調査
 - 3)フレーム化による成功パターンの展
- 5.デジタル技術を活用した、知見の共有や自発的なマッチング等の活動の提言と支援

③打合せ及び会議の運営並びに各種報告書の作成

③打合せ及び会議の運営並びに各種報告書の作成：1.事務局との進捗報告会

◆ 事務局内の進捗報告に関しては月2(隔週)～月7回程度実施。テーマ毎に分科会の形式をとりながら、ディレクターへの情報連携等も行った。

	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2023.1	2023.2	2023.3
全体会議等	初回Mtg キックオフ		事業全体			渡邊様Mtg	渡邊様Mtg	渡邊様メールベースでの共有				報告書確認
報告会等				GA分析	GA分析			事前Mtg 石川ゲストMtg①			中間報告会	最終報告会
CJPF LIVE		全体企画Mtg BCWPMtg		奈良先生 企画Mtg	キャラバン 車多様	高岡様 ふらつと様	キャラバン	コチュ様 レティシア様 庄内取材	石川ゲストMtg② LIVE収録	審査会		
CJPF AWARD		キックオフ 企画Mtg			企画Mtg	審査Mtg	夏野様 城宝様	表彰式Mtg 審査方針Mtg	審査方針Mtg 審査方針Mtg		表彰Mtg 表彰式 会場下見	表彰振り返り
モデル事例		企画Mtg	企画Mtg		企画Mtg	十勝取材		秩父取材 石川取材	高知取材	企画Mtg 徳島取材	釜石取材	
CJPF 総研	慶応SDM キックオフ		企画Mtg 慶応SDM	慶応SDM		定例 定例			定例 定例 イベントMtg	イベントMtg	イベントMtg 田澤様訪問	ワーク ショップ
CJPF LAB			企画Mtg		青山様 レティシア様	太田様			イベントMtg	キックオフ		
ソーシャルリスニング			キックオフ	企画Mtg								

第2章 実施業務詳細

(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

③打合せ及び会議の運営並びに各種報告書の作成：2.中間報告及び最終報告

- ◆ 中間報告会に関しては事業の進捗とともに2024年2月14日(水)に実施。また最終報告書に関してはダイジェスト版を提出した。
- ◆ 提言等に関しては「第3章」の総括に記載。

中間報告書

The thumbnails show various components of the intermediate report, including:

- 01: モデル事例①** (Model Case 1): A case study on digital marketing for a local festival.
- 02: CJPF AWARD 対象事例の募集・応募の促進** (CJPF AWARD Target Case Collection and Promotion): A dashboard showing application statistics for 2023 and 2022.
- 03: CJPF AWARD 本年度の受賞作品例** (CJPF AWARD This Year's Awarded Works): A showcase of award-winning content, such as a video for 'Genji's Japan'.
- 04: CJPF AWARD 対象事例の募集・応募の促進** (CJPF AWARD Target Case Collection and Promotion): Another dashboard view of application data.
- 05: CJPF LAB サイト** (CJPF LAB Site): A screenshot of the CJPF LAB website interface.
- 06: CJPF LAB サイト** (CJPF LAB Site): Another screenshot of the website, showing different sections.

最終報告書ダイジェスト

The thumbnails show key findings and data from the final report digest, including:

- (1) CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価: CJPF LIVE** (1) CJPF Event Planning, Operation, and Evaluation: CJPF LIVE. A summary of the CJPF LIVE event, including a table of participation statistics for 'LIVE' and 'PRO-LIVE'.
- (1) CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価: CJPF LIVE** (1) CJPF Event Planning, Operation, and Evaluation: CJPF LIVE. A summary of the CJPF LIVE event, including a table of participation statistics for 'LIVE' and 'PRO-LIVE'.
- (1) CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価: WOW BASE** (1) CJPF Event Planning, Operation, and Evaluation: WOW BASE. A summary of the WOW BASE event, including a table of participation statistics for 'WOW BASE' and 'WOW BASE'.
- (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価: CJPF LAB** (2) CJPF Business Investigation, Implementation, Operation, and Evaluation: CJPF LAB. A summary of the CJPF LAB project, including a table of participation statistics for 'CJPF LAB' and 'CJPF LAB'.

第3章 全体総括



本事業の成果

(1) CJPFにおける各種イベント等の企画・運営・評価に関する調査

CJPF AWARD

- 様々なチャネルで募集を促進し、独自のリサーチを実施することで、応募数と応募作品の質を担保することができた。
- 表彰式をオフライン/オンライン型で実施することで、表彰にフォー化することができ、遅延のないスムーズな運営を実現できた。
- 懇親会を全員参加型とし、前回/今回の受賞者の製品を軽食として提供することで盛り上がりのある場の演出につながった。

CJPFライブ

- 地域で活躍する事業者を発掘し、次年度以降の共創につながる関係性の基盤を整えることができた。
- 撮影の運営に関しては、入念な事前設計により、遅延のないスムーズな運営を実現できた。
- キャラバンでは外国人の視点による新たな情報提供を行うことができた。また、出演者のSNS投稿等により、結果的に過去最速で過去最高の視聴数を記録した。

WOW! BASE

- 集客、参加の過程において「クールジャパン戦略」の認知、理解につなげる機会となった。また、新たなZ世代という関係人口を創出することにもつながった。
- Z世代によるクオリティの高いコンテンツはもちろん、新たな視点での「日本の魅力」を紡ぐ機会となり、参加した学生の満足度も非常に高い結果となった。

(2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

① CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査

- 英語圏4カ国における、日本の「魅力」、「クールジャパン」がどのように捉えられているのかを定量的に分析し、可視化することができた。
- これまで中心としてきた「食・食文化」以外への注目が集まっている事実も明らかになり、次年度の戦略とテーマ立案の材料となった。
- 経年で定点分析を行うことで、世界から見た「クールジャパン」を明らかにする可能性も見出せた。

② CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

- 成功モデル事例: 地域、担い手、事業の3軸で事業者を選定。事務局として伴走し全6事業のプロジェクトの分析・成功事例の可視化を行った。
- CJPF 総研: 成功モデル事例の持つ「ストーリー」を可視化、構造化することで、成功モデル創出の「モデル化」基盤の足がかりを築くことができた。
- CJPF LAB: 点でつながっていたコミュニティをオンライン化し、「自走する共創」の足がかりを築くことができた。
- cjpf.jp: より「人」と「地域」が主人公であるコンセプトを感じさせつつ、ユーザが使いやすいサイトへUIデザインをブラッシュアップすることができた。



データドリブンなKPI/KGIおよび戦略の設定と、それに基づいた戦術の立案および推進を行う。

KPI/KGIの設定

①データドリブンなKPI/KGIの設定

- 全体で何を対象にし「何を」「どこまで」達成すべきか以下のような参考指標を得られるデータに基いて設定。
- 情報発信 : Google Analytics等のデータ
 - コンテンツ : SNS等のハッシュタグ調査等のデータ
 - イベント : 参加者属性・アンケート等のデータ

②データドリブンな戦略テーマの設定

- 先のデータの分析などを統合の上、どこまでを戦略テーマと扱うべきかを判断し、設定。
- テーマ : 食・食文化以外のカルチャー等への挑戦
 - エリア範囲 : 日本国内事例以外の海外事例への挑戦

新しいCJの担い手との接触

CJPF 総研

新しい層との接触や担い手の裾野を広げ、さらに踏み込んだ事業支援も視野に

ワークショップ=担い手とのつながりの手段と捉え、汎用化を行いエリア実施をすることで接触を強化。また事業支援強化も検討。

- 総研キャラバン
エリアブロックでワークショップを実施
- 踏み込んだ事業支援
ストーリーの先までの支援を継続して検討

オンラインコミュニティの推進・拡大

CJPF LAB

活性化にむけた施策の投入と、「手上げ性」の導入を想定

情報の流通量を増加させていくための運営の強化、および積極性を採用できる制度を制定し運用を行う。

- 投稿の推進
現状のメンバーへの働きかけを通じて、投稿量=情報量の流通を増加させていく
- 手上げ性のワークショップの運営
地域の担い手のイベントや参加いただけるメンバーから実施したい企画、テーマを募集し、より自主性の強い場を目指す

既存事業の磨き上げ

CJPF (モデル事例)

…国内のみならず海外発信案件への挑戦も検討例) 事業者、CJラボで、「ジャパンエキスポ」などの出展

CJPF LIVE

…訴求力のある「海外出身者」視点の強化も検討

CJPF AWARD

…総研・ラボとの連携による裾野の拡大も検討